

# Office 2019/Office 2021 インストールマニュアル

令和3年11月1日

神戸大学 情報基盤センター

このマニュアルは九州大学情報統括本部より提供いただいたマニュアルをもとに作成いたしました。



[This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 Japan License.](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/)

## 改訂履歴

—	改訂日	改定内容
第1版	令和1年11月15日	新規作成
第2版	令和3年11月1日	Office 2019版をOffice 2021との共通マニュアルとして改訂

# 目次

## STEP1 インストールの前に

インストールの前に … 4 ページ

## STEP2 インストール

インストール … 5 ページ

## STEP3 ライセンス認証

1. DNSサフィックスの追加 … 8 ページ

2. ライセンス認証の確認 … 12 ページ

※ Officeの旧バージョンがインストールされている場合は、予め削除してください。

※ Office 2019/Office 2021 の対応OSは、Windows10以降 (Windows 10 SAC, Windows 10 Enterprise LTSC ), Windows Server 2019です。

※ Office 2019/Office 2021 には 32bit版と 64bit版があります。インストールするコンピュータでどちらの Windows を実行しているか確認してください。

(参考)Microsoft Office の 32 ビット版と 64 ビット版を選択する

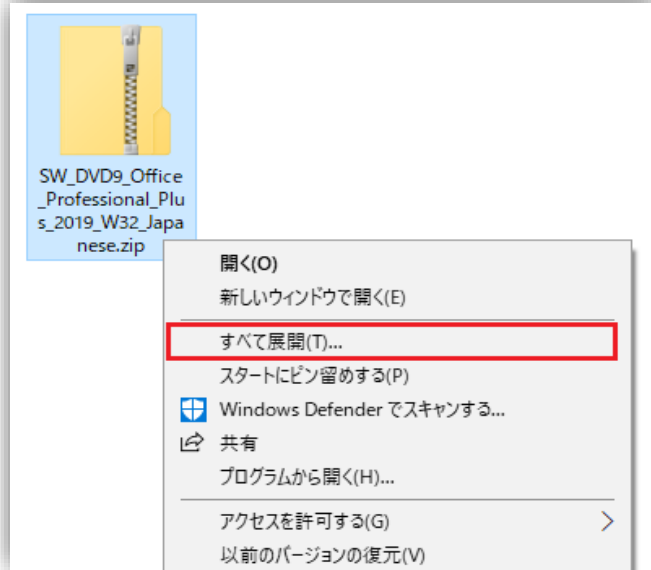
<http://office.microsoft.com/ja-jp/word-help/HA010369476.aspx>

※ インストールを実行する際は、オンライン(インターネット接続可)である必要があります。

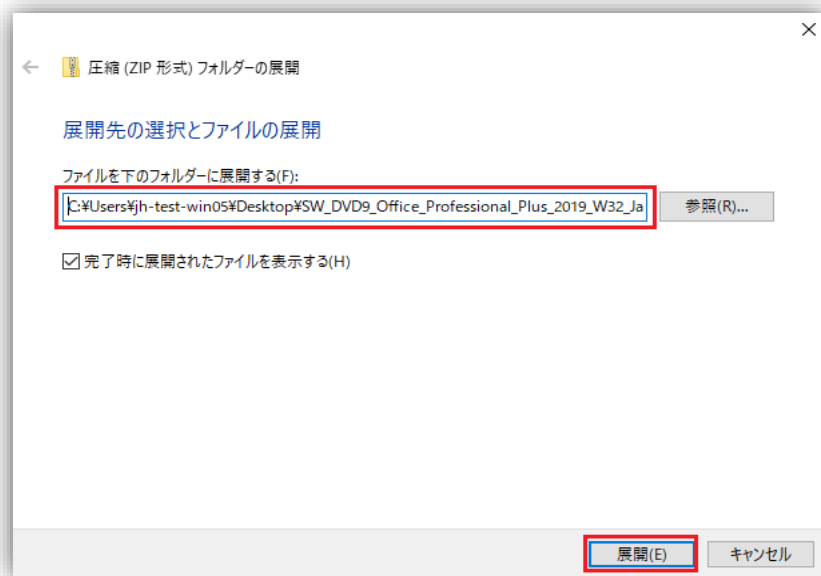
※Office 2019とOffice 2021の手順は同じです。

マニュアル中の「2019」の表記は、適宜「2021」と読みかえてください。

## STEP1 インストールの前に



手順1  
コンピュータに管理者権限ユーザーでログインします。ダウンロードしたZIP形式の圧縮ファイルを右クリックして、「すべて展開」を選択します。

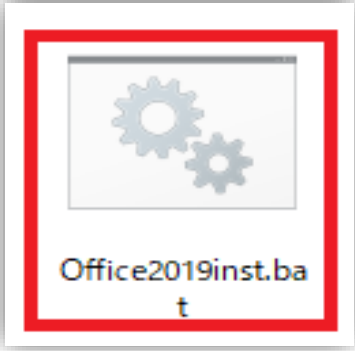
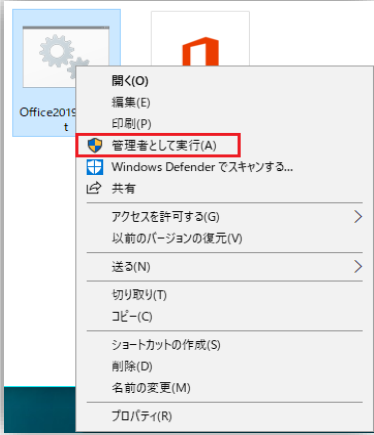

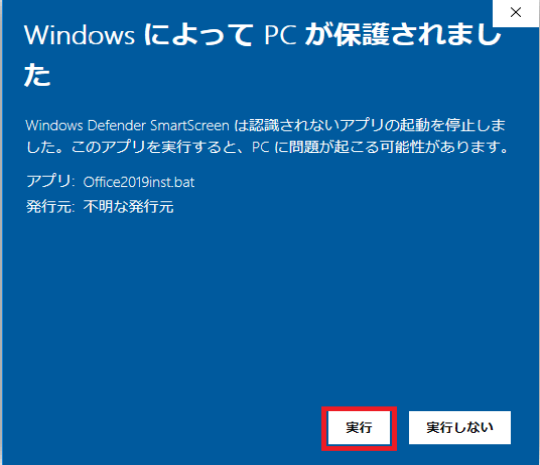


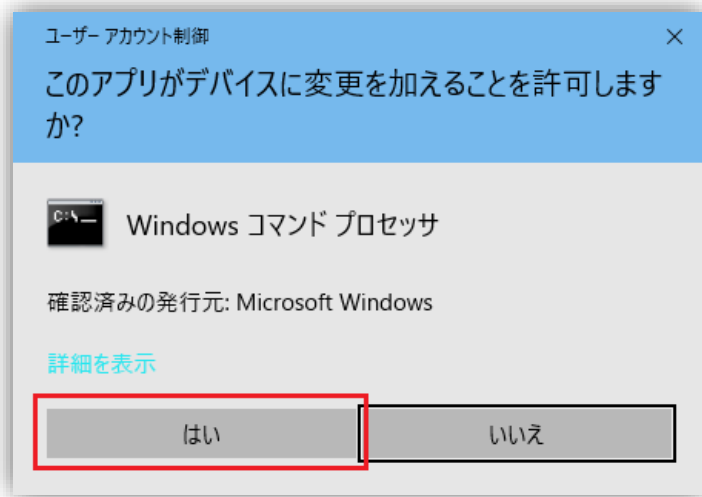
手順2  
保存先を選択し、「展開」をクリックします。



手順3  
展開されたフォルダ内のファイルが表示されます。

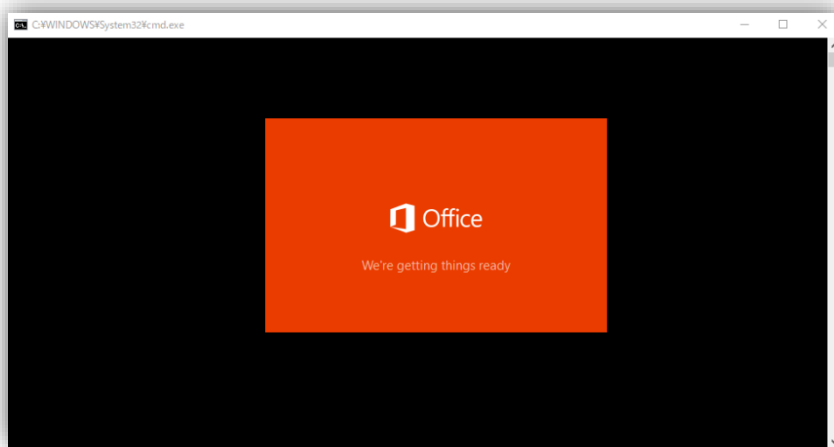
## STEP2 インストール

	<p>手順1 「Office2019inst.bat」を右クリックします。(※setup.exeではありません)</p>
	<p>手順2 「管理者として実行」を選択します。</p>
	<p>手順3 Windows Defenderをご利用の場合 Windows Defenderによるポップアップ画面が表示されたら「詳細情報」をクリックします。(表示されない場合は手順5に進みます)</p>
	<p>手順4 「実行」ボタンを選択します。</p>



手順5

「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら「はい」を選択します。



手順6

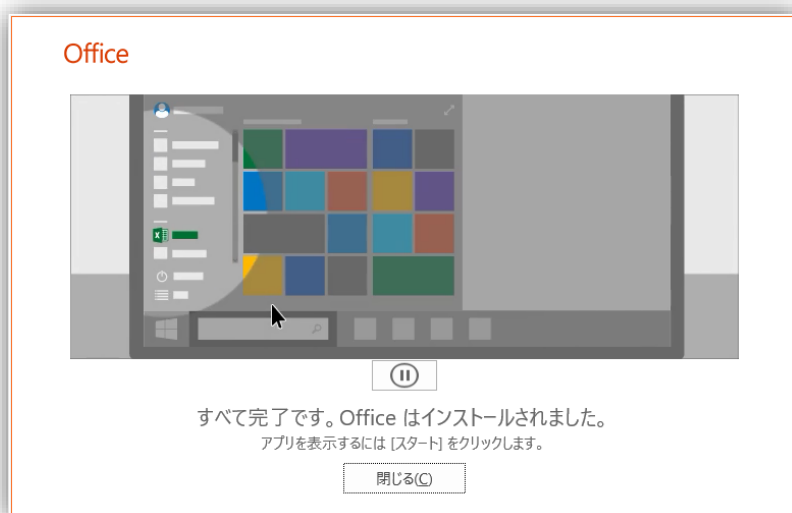
左のような画面が表示されます。しばらく待ちます。



手順7

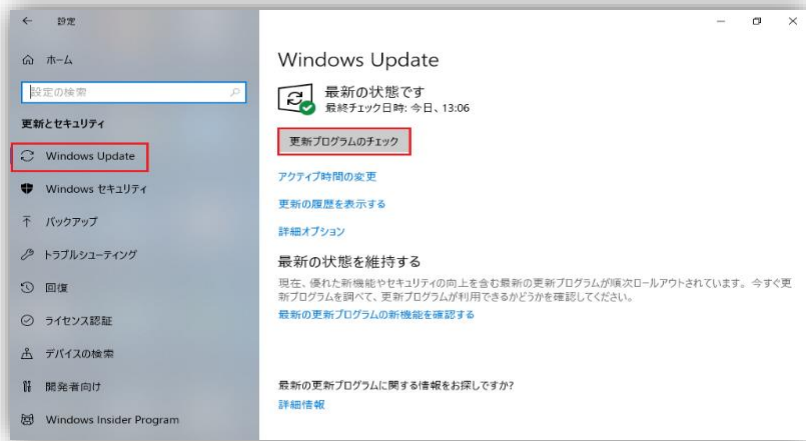
左の画面が表示され、インストールが開始します。

インストールが完了するまでしばらくかかります。

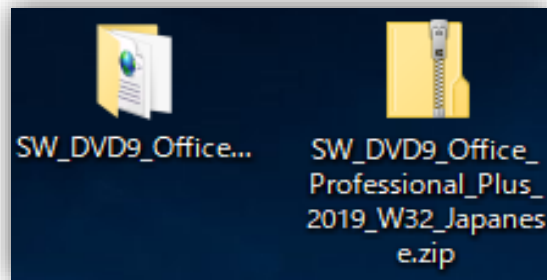


手順8

インストールが完了します。



手順9  
インストールしたOfficeを最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。  
Windows[スタート]メニューから[設定] - [更新とセキュリティ]をクリックし、[Windows Update]で「更新プログラムのチェック」をクリックし更新します。



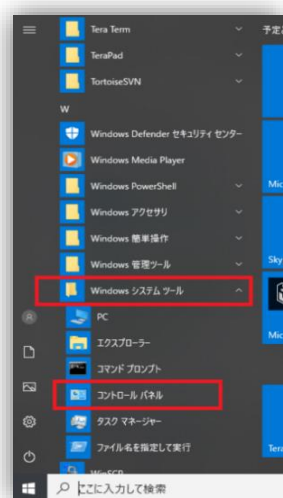
手順10  
インストールの完了後は、ダウンロードしたZIP形式のファイルと解凍し作成されたフォルダを削除します。

## STEP3-1 DNSサフィックスの追加

Officeの利用には、定期的なライセンス認証が必要です。  
コンピュータを学内ネットワークに接続していれば、ライセンス認証は7日毎に自動的に実行されます。

学内ネットワークに接続していない等の理由で、最後にライセンス認証を実行した日から180日経過した場合、ライセンス認証の実行を促すメッセージが表示され、30日後にはOfficeが利用できなくなりますのでご注意ください。

ライセンス認証を自動的に実行するために設定を行います。(既にDNSサフィックスを追加している場合は、この設定は不要です。)

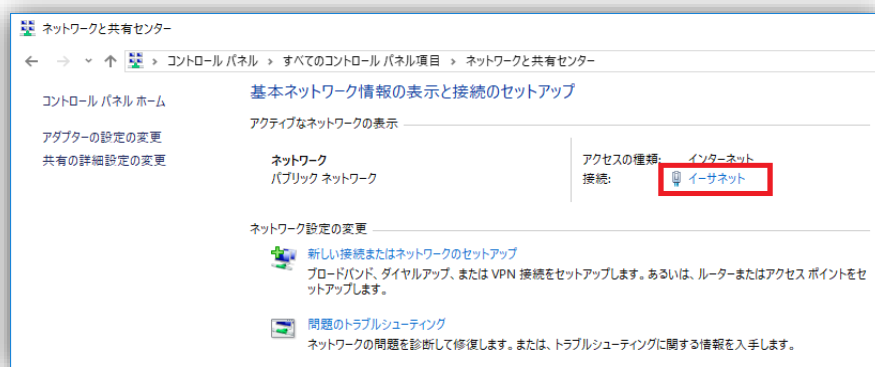


手順1  
コンピュータに管理者権限  
ユーザーでログインします。

コントロールパネルを開きます。



手順2  
「ネットワークと共有センター」  
をクリックします。



手順3  
学内のネットワーク接続に用いる  
アダプター設定(「イーサネット」  
等)をクリックします。

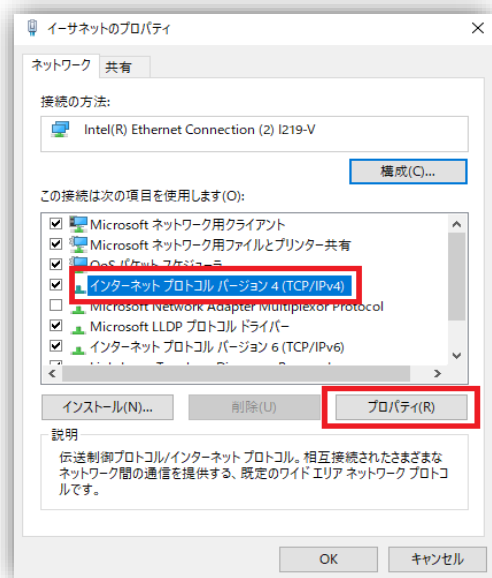




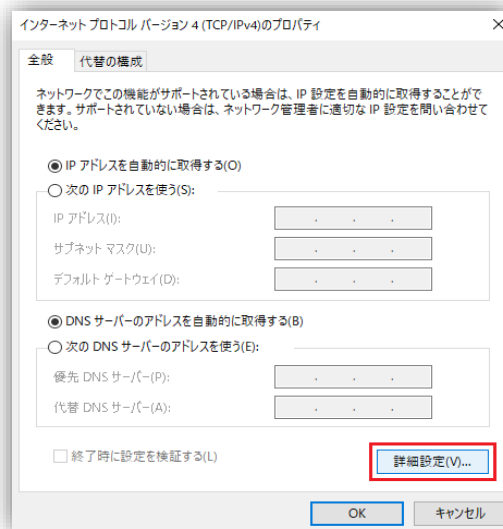
手順4  
左のような画面が出るので「プロパティ」を選択します。

その際、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合がありますが、「続行」ボタンをクリックします。

無線ネットワークと有線ネットワークの両方を利用する場合は、何れか一方のアダプターに設定することで、設定は両方に反映されます。

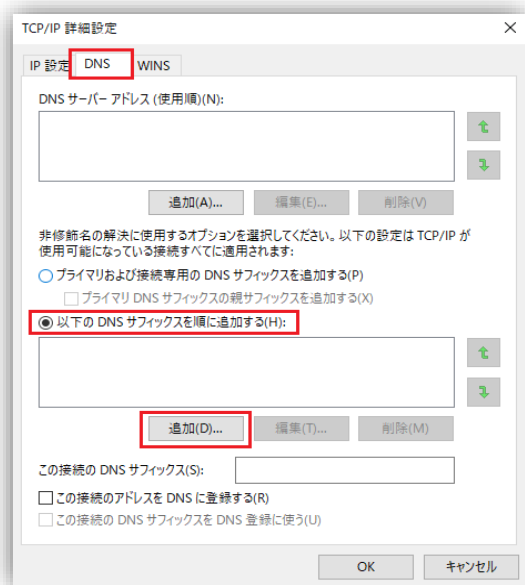


手順5  
「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

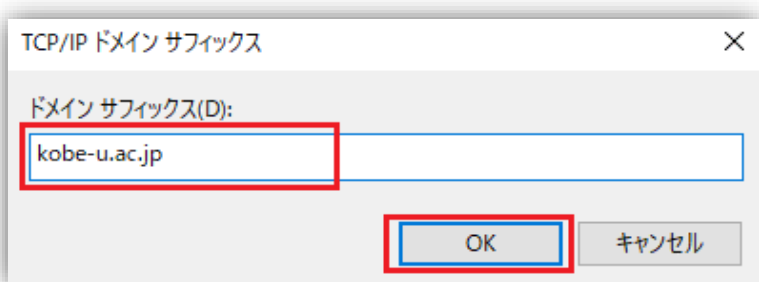


手順6  
「詳細設定」をクリックします。

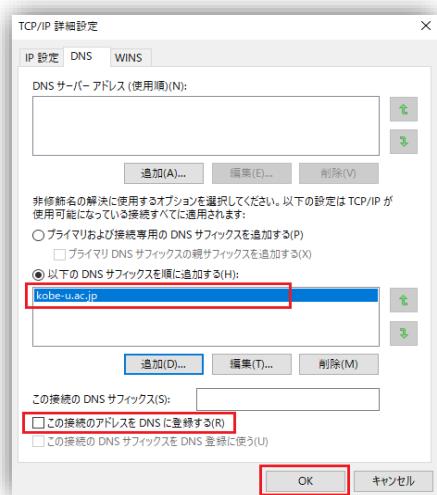
(補足)  
IPアドレスなど現在の設定を変更する必要はありません。



手順7  
「DNS」タブをクリックします。  
「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、その下にある「追加」をクリックします。



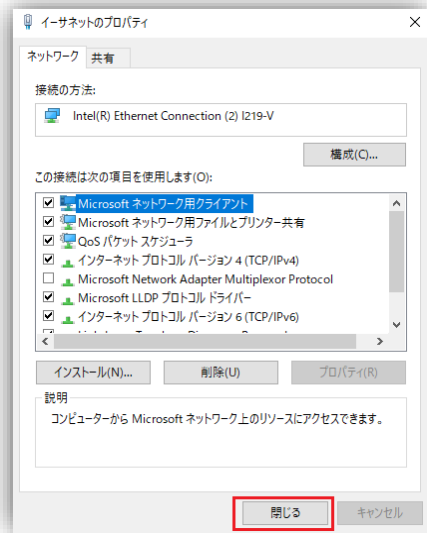
手順8  
ドメインサフィックスに「kobe-u.ac.jp」を入力し、「OK」をクリックします。



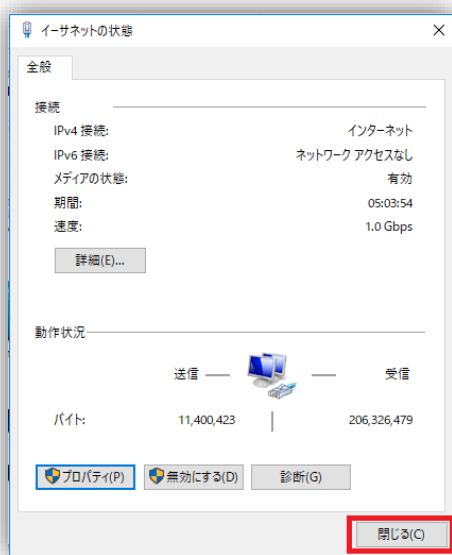
手順9  
DNSサフィックスに「kobe-u.ac.jp」が追加されていることを確認します。  
また、「この接続のアドレスをDNSに登録する」にチェックが入っていないことを確認します。  
「OK」をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」画面を閉じます。



手順10  
「OK」をクリックし、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面を閉じます。


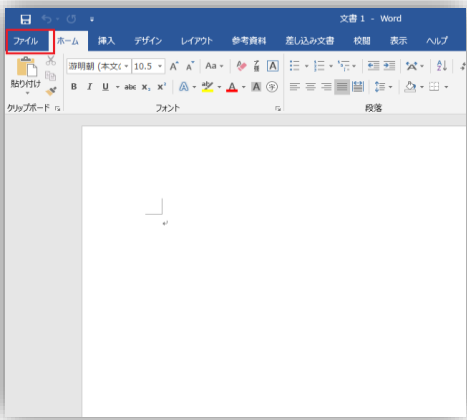
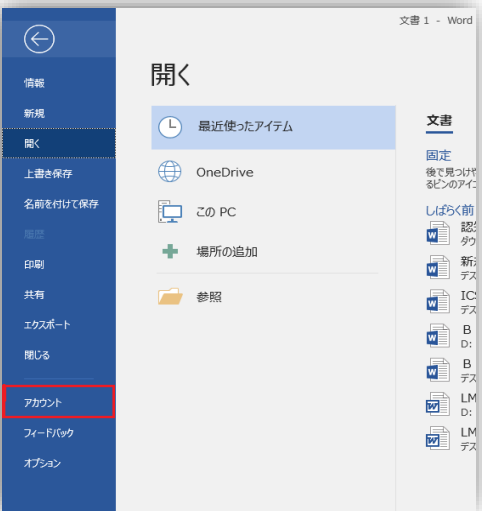
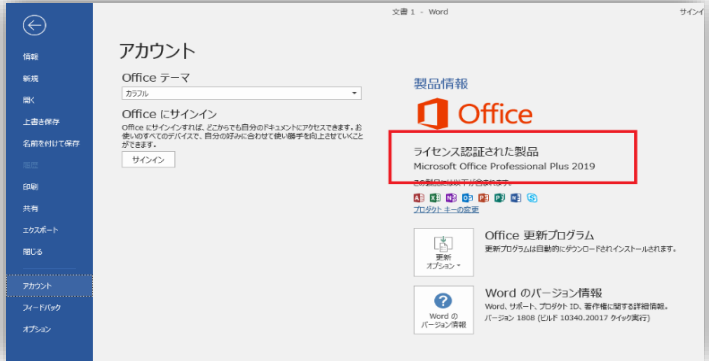


手順11  
「閉じる」をクリックし、ネットワーク接続のプロパティ画面を閉じます。



手順12  
「閉じる」をクリックし、画面を閉じます。  
これで設定は終了です。

## STEP3-2 ライセンス認証の確認

	<p>手順1 DNSサフィックスの設定完了後、コンピュータ本体の再起動を行います。</p> <p>再起動後、Word等の任意のOfficeアプリケーションを起動します。</p>
	<p>手順2 Officeが起動したら、任意のテンプレートフォーマットを選択し、ファイル作成画面に入ります。</p> <p>「ファイル」をクリックします。</p>
	<p>手順3 「アカウント」をクリックします。</p>
	<p>手順4 左図のように、Office 2019が「ライセンス認証された製品」として表示されていれば、ライセンス認証が成功しています。</p>